

J R 東日本労働組合

秋田ジャーナル

J R 東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 笹渕 太郎

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9 秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら!

謹賀新年

組合員の皆さまとご家族におかれましては令和5年の清々しい初春を迎えられた事とお慶び申し上げます。また平素よりJR東日本労働組合秋田地方本部に対しご指導、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2020年1月頃から感染拡大が広まった新型コロナウイルス感染症の影響などにより、それから各四半期決算では赤字決算が続いていましたが、今年度に入り第一四半期に続き第二四半期決算でも全てのセグメントで増収増益となり黒字を継続する結果となりました。現在、新型コロナウイルス感染症の第8波の最中にありますが、このまま最終決算が黒字で推移する事になれば、JR東日本にとってアフターコロナの時代へと移りつつあるのではないかと考えています。そうした中で、年末手当の回答では残念な結果となりました。黒字へと転じた大きな要員としては、行動制限の緩和などにより鉄道利用者やレジャー客が戻ってきたこととされていますが、その背景には様々な分野でのコストダウンやイベントなどでJR東日本の魅力を伝え続けたことでの収入確保など社員の奮闘があったことに他ならないと思います。今後、本格化していく2023春闘では、賃金は労働力の対価である以上、社員の奮闘や苦勞に対して会社からしっかりと応えてもらうよう秋田地方本部としても取り組みを進めて行きます。

現在、秋田地方本部には平成採用以降の若い組合が8名います。これは様々な取組みを通じて信頼関係を築き加入へと実を結び、選択されている証拠であるといえます。コロナにより様々な事が制限され交流などがまだまだ難しい状況ではありますが、次代へ向けた地本体制づくりへ向け、立ち止まることなく一歩でも前へ組織の強化・拡大の取り組みを進めて行きます。

最後になりますが、組合員とご家族の安全と健康、働きがいや働きやすさを追及し、将来に希望の持てる環境づくりに向け組合員の皆さんと一丸となって諸課題を乗り越えていきたいと考えています。

安全で安心して生活が出来る社会になる事を願うとともに2023年が皆さまにとって実り多い一年になることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

秋田地方本部執行委員長 笹渕太郎

執行部・職員一同